



社会・地歴科教育法

フィールドスタディ報告

人間文化学科 講師
両角 遼平

「社会・地歴科教育法」の概要

「社会・地歴科教育法」は、中学校社会科および
高等学校地理歴史科の教育職員免許状取得を
目指す学生が受講する科目です。

前期の講義では2コマ分を使って
フィールドスタディを行い、その
成果をもとに授業づくりを行いました。



フィールドスタディの対象地域



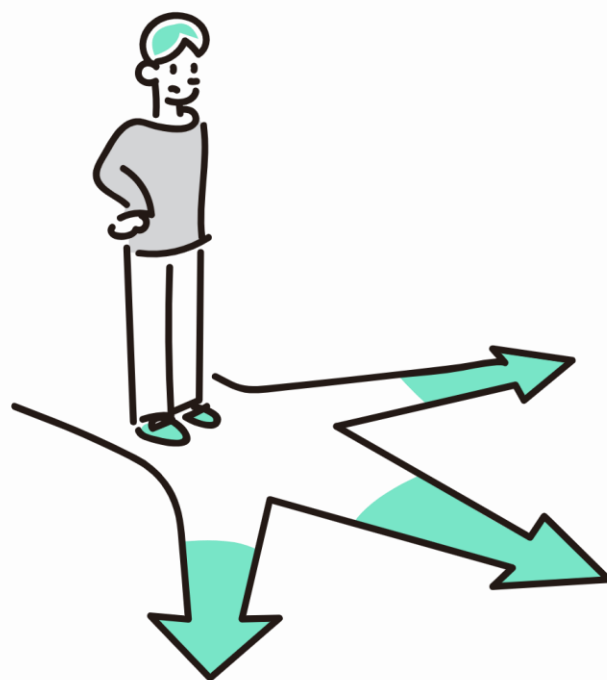
受講生と相談して、福山大学の所在する福山市に隣接する身近な地域であり、観光地や港町といった地理的特色を有しており、教材となる地理的事象が豊富な尾道市を対象地域に選定しました。

フィールドスタディのメンバー

受講生9名を3班に分けて、班ごとに事前準備として
尾道市の特色を調べ、具体的な調査計画を立てました。

班	学生	取得予定 の免許状	班	学生	取得予定 の免許状	班	学生	取得予定 の免許状
1	A	高校地歴	2	D	中学社会 高校地歴	3	G	中学社会 高校地歴
	B	高校地歴		E	中学社会 高校地歴		H	中学社会 高校地歴
	C	高校地歴		F	高校地歴		I	中学社会 高校地歴

フィールドスタディの様子



2024年6月18日（火）にフィールドスタディを実施しました。

当日は9時30分に尾道駅へ集合し、班ごとに分かれて約2時間20分間の調査を行った後、11時50分に再度尾道駅へ集合し、解散しました。

- 1班…尾道駅周辺および尾道本通り商店街
- 2班…千光寺周辺
- 3班…千光寺周辺および尾道本通り商店街

フィールドスタディの様子

3班による尾道本通り商店街と 千光寺周辺（尾道水道）の調査



フィールドスタディと授業づくり



フィールドスタディ実施後の
講義では、調査の成果をもと
に各班で授業をつくり、**学習
指導案**を作成しました。

各班が作成した学習指導案
をもとに、代表者が**模擬授業**
を行いました。

フィールドスタディの成果

フィールドスタディを通して、学生が地域を教材として研究する方法を身につけるとともに、身近な地域を対象とした多様な授業づくりの在り方を比較・考察することができました。

また、今後はフィールドスタディ実施前に授業づくりを見据えた事前準備・調査を行う必要性が見出されました。



フィールドスタディの成果

本科目の取り組みをもとに、学生の授業づくりを分析・考察した紀要論文を執筆しています。ぜひご覧ください。

両角遼平（2025）「教職課程履修学生は身近な地域をどのように授業化するのか―広島県尾道市における地域調査に基づく授業開発を事例に―」『福山大学人間文化学部紀要』第25巻, pp.61-80.

<https://fukuyama-u.repo.nii.ac.jp/records/2000282>

